

日豊海岸ツーリズムパワーアップ協議会 あり方検討

■観光まちづくりの理念 基本的考え方

理念

- ・住んでよし、訪れてよしの浦づくり

守りたい価値

- ・浦文化（郷土芸能、料理…）
- ・浦の価値観（他を認める、足るを知る、補完性の原理、三助の精神）
- ・訪れた人の思い出に、地域の人が思い浮かぶ

基本的考え方

- ・一粒の真珠：ないものねだりではなく、有るものを活かす
- ・訪れた人の学びの場となる、自分と違う価値観を与えてくれる
- ・地域の人と訪れる人が繰り返し交流できる

■地域ブランド化のコンセプト

- ・日本の本当の豊かさが残る日豊海岸にある浦リゾートの確立

風光明媚なリアス海岸が続き、国定公園にも指定されている日豊海岸の西の峰々は※九州山地に位置する祖母・傾・大崩ユネスコエコパークが控え、その峰々から豊かな水が海へと流れ込み黒潮の海流と合流し、沿岸の磯を洗ってきた長い歴史がある。この日豊海岸には「津々浦々」と表現されるように「浦」と呼ばれる集落が数多く点在している。「浦文化」として地域に根付く産業、歴史、食、唄等の一つ一つを掘り起こし、観光資源として磨き上げ、地域の魅力として整備、情報発信することで観光振興及び地域の活性化を図る。

※九州山地：地層は臼杵・八代構造線や仏像構造線に沿って縞状に分布している。ほぼ全域が秩父帯および四万十層群と呼ばれる地層群を基盤とし、四万十層群は北から佐伯帯、蒲江帯、延岡帯に細分される。ただし、南西部は火山噴出物で覆われている部分が多くこれらの地早退は明瞭ではない。

■観光まちづくりの課題

- ・ビジョンの共有、推進体制の整備
- ・中核となるTPUの強化
- ・広域観光推進組織として、日豊海岸3市(臼杵・津久見・佐伯市)、財源、人材
- ・宮崎県北部との連携強化
- ・活動財源
- ・自主財源を得てボランティアにならないこと

- ・ エリアを越えた観光コース
- ・ 3市連携、大分市・由布市・宮崎県北部との連携
- ・ 地域素材(ヒトも含め)発掘、ヒトのプロデュース
- ・ 成果をはかる指標の設定 (KGIとKPI)